

災害事例

業種：建設業

被災者：50代男性 経験年数4年

傷病名：熱中症

休業見込：5日間

災害発生日時：令和元年7月中旬 午前11時00分

<発生状況>

河川敷で草刈作業中、体調が悪くなり、転倒して頭を打った。

なお、災害発生時の天気は晴れ、気温29度であった。（気象庁データ引用）



<解説>

職場における熱中症で亡くなる人は、毎年全国で10人以上にのぼり、4日以上仕事を休む人は、400人を超えています。

福井県内でも、過去10年間の職場での熱中症による休業4日以上の死傷者数は合計46人となっており、内1人は死亡しております。

熱中症を防止する対策は、暑さ指数計で暑さ指数（WBGT値）を把握して、その指数に応じて作業の中止、短縮、休憩時間の確保の徹底、そして水分、塩分を積極的にとることは言うまでもありませんが、作業前日の睡眠不足や飲酒量等、日常の健康管理についても各自が徹底しなければなりません。

また、今年に関しては新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」が実践されていることから、マスクの着用等により例年よりも熱中症になりやすいことが予想されます。

屋外で人と十分な距離が確保できる場合はマスクを外す、あるいはマスクを着用しているときは負荷のかかる作業を避ける等、「新しい生活様式」を踏まえた熱中症予防行動が必要です。